

網張ビジターセンター ニュースレター



Vol.96
2021.5



amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori * 網張の森の生き物たち * amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori

ひょっこい現れた“ニホンアナグマ”

4月下旬のある日、少し汗ばむような陽気の中、森の中でアナグマに出会いました。視界が利かなくなり始めたササ藪からカサカサと聞こえ、風の仕業と気にも留めませんでした。すぐにガサガサとササが大きく揺れました。音の方に目を凝らすと地面近くにいきものの気配が。ササの合間からくすんだ桃色の鼻とあどけない目が見えました。こちらと同様に相手も息を潜めている様子が伝わってきて、しばし見つめ合うこと数十秒…。シャッター音に警戒しつつもササの間から出てきたのはまだ若そうなアナグマです。すると突然ストンと地面に伏せをしてまたこちらをじっと見えています。再び見つめ合うこと数十秒…。ひょっとして、これが噂の“死んだふり”…?とは言え、目はパッチリ開き、どうひいき目に見ても“犬の伏せ”にしか見えません。しびれを切らしたアナグマは立ち上がり、今度は落ち葉だらけの地面をほっくりかえし始めました。しばらくして「ハッ」と慌てた様子でササの中へ戻って見えなくなりました。愛嬌たっぷりながら、体一つで身を守る野生動物の必死さを間近で見ることができました。

What is “Nihon anagama”?

「ムジナとも呼ばれる
イタチの仲間」

イタチ科

頭胴長：約 40～60cm

分布：本州・四国・九州・小豆島

雑食性でミミズを好み、果実なども食べる。交尾は春から夏に見られるが、着床遅延が生じ翌年4月上旬に1～3頭出産する。小さな穴を掘ってタメ糞をすることもあり、他の個体との情報をやり取りしている。

(参考図書：「日本の食肉類」他)

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomori

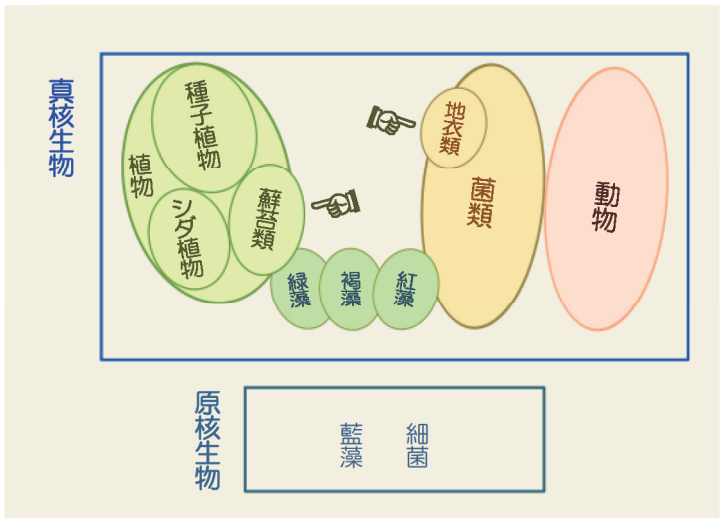


若楓
さらに影置く
水原 秋桜子

倒木を読む

第7話
ミモの世界に思いをはせる

近年のソロキャンプブームに乗っかり、時々キャンプ場に出かけては焚火を楽しんでいる。薪は枯れ木を拾う現地調達が多いので、よく切れるノコギリは手放せない。ふと手頃な大きさに切った枝に目をやると、いい感じにコケなどが着いている。燃やすには惜しいが、火がないと飲食ができないので心の中で合掌し火にくべる。コケとは昔“木毛”と書き、木の幹や枝に生える毛のような小さな植物を意味したそうだ。さらに詳しくコケをひも解くと、大きく蘇苔類と地衣類に分ける事ができる。両者は右の図を見ると分かる通り、遺伝子の系統は大きく異なる。人からすると地味に映りがちな両者だが、様々な厳しい環境にも適応し生態系の礎を築く「陰の立役者」という側面もありそうだ。



参考文献：中村俊彦・古木達郎・原田浩『野外観察ハンドブック 校庭のコケ』

Q.地衣類ってなじみがないけど、一体どんな生きものですか？

A.地衣類は実は一つの生き物ではなくて、菌類と藻類が一体になっている共生生物です。菌類は土・岩・樹幹や人工物など様々な場所に着生できるけど、藻類は単体では生きられませんが、そこで藻類は菌類から居場所と水の提供を受け、そのお返しに光合成で作った栄養を菌類に与えます。お互いにメリットのあるいい関係を築いて、様々な環境に適応しているんだね。

ウメノキゴケ科



アミハリ・バーズ Vol. 39

コルリ

科名：ヒタキ科
全長：約 14cm
生態：夏鳥
分布：本州中部以北の山地

鳴き声

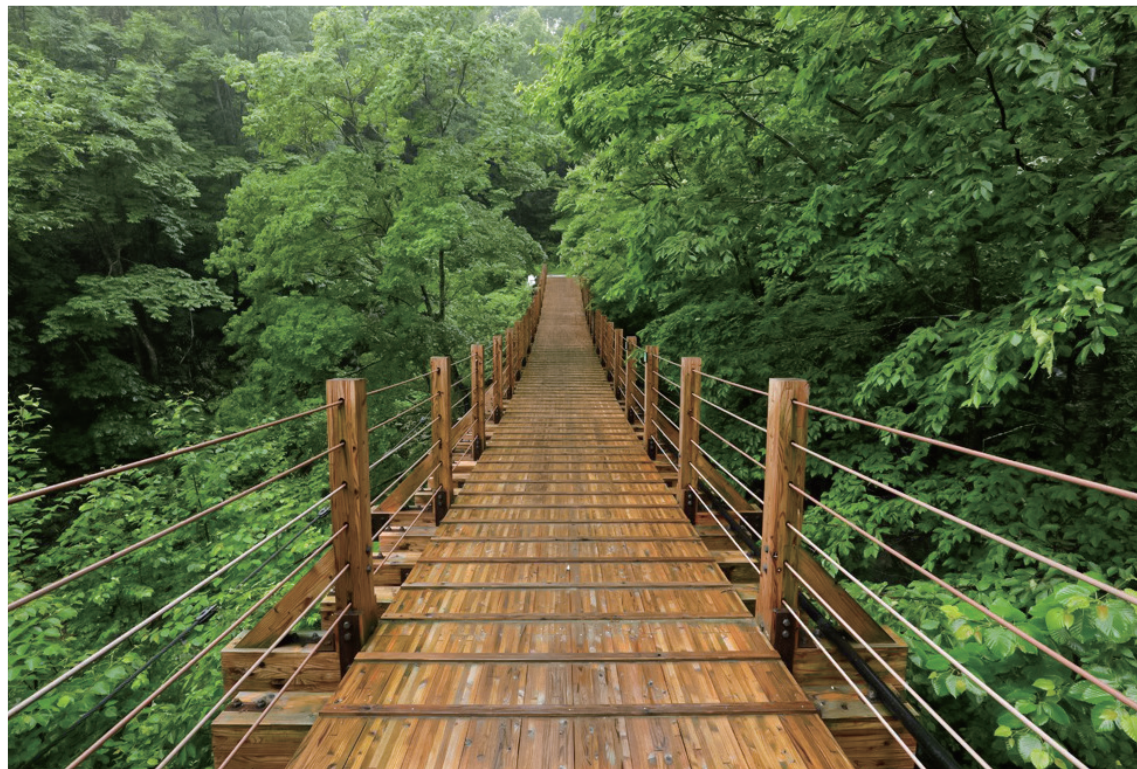
チツチツツ、
ピンツルルルル
チージョイジョイジョイ



野鳥の見た目ですが、雄と雌で色合いがまったく違う種類がいます。夏鳥ではキビタキやオオルリもそうですが、今回はコルリの雌を取り上げます。瑠璃色が鮮やかな雄とは違って、地上の巣で子育て中も目立たないようなオリーブ褐色という微妙な色合いをしています。地面に近い場所で主に昆虫をとらえて食べる生態なので、なかなか見つけるのが難しいです。先日、森で枝にとまるペアらしき姿を見ましたが、逆光かつお腹の方が見えるアングルだったので惜しい！晴れや曇り等光の反射の加減によって色が違って見える構造色の雄と、森にとけ込む雌を見比べると全く異なる鳥に見えますが、鳥の目にはお互いをどのように捉えているのでしょうか。

網張 岩手山

私のとおきおきの1枚



バスの中はスキー客でいっぱいであった。寒い中、着込んで乗った車内は熱気を帯び汗ばんできた。さらに揺れるバスに乗り物酔いの気配までしてきた頃網張温泉に到着した。スキーブームの始まりの頃、高校生だった私は網張温泉でアルバイトをしたことがあった。はっきりとは覚えてないが、仕事の内容は宿泊客の宴会後の片づけなどをして、翌朝はスキー場のロッジへ荷物を運び、ストーブへ給油などの雑用をした。当時の網張温泉は現在の日帰り温泉館の辺りにあったような、そしてグレンデは現在の第2リフトのところで、白樺ロッジまでは沢浴いを歩いたような・・・？

一昨年の晩秋の頃、初雪の湯ノ沢橋を渡ってそんなことを思い出した。

翌春、日々緑濃くなるこの時期の湯ノ沢橋に行ってみた。晩秋の寂しさとは一変して、周りの緑と相まってそれはアニメ映画に出てくる趣であった。

皆さんも温泉館に来た際にはぜひ湯ノ沢橋まで散策してみてください。そして、帰りには見応えいっぱいのビジターセンターの施設も忘れずに。

写団樹景 小坂 富男 氏

「盛岡管理官事務所に着任いたしました」

環境省 国立公園管理官 塩野 啓一さん

2021年4月に前任の秋月に代わり十和田八幡平国立公園管理事務所盛岡管理官事務所に着任した塩野と申します。前任地は北海道札幌市で国立公園行政に関わる業務を担当しまして、管内の国立公園（利尻礼文サロベツ国立公園、大雪山国立公園、支笏洞爺国立公園）を回り、北海道の自然の雄大さを実感しました。

（写真は、昨年の休日に大雪山国立公園内にある旭岳付近で撮影したものです）

私が勤務する事務所は盛岡にあるわけですが、大学時代の4年間を盛岡で過ごしたこともあり、この地で勤務できることをとても嬉しく思っています。この事務所では、環境省の出先機関として、国立公園や関連する業務に携わりながら、地域活性化の一助になれるよう取り組みができればと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



自然観察会報告

実施いたしました行事は、新型コロナウイルス感染症対策に重点をおきながら開催いたしました。今後開催予定の行事につきましても、引き続き対策を講じながら行ってまいります。

3月20日(土) 網張ビジターセンター リニューアル記念 お絵かきイベント



今回改修された網張ビジターセンターのイラスト全般を担当した盛岡在住のイラストレーター、さいとうゆきこ氏を講師にお迎えし、網張の森にどんな生きものがいるかを想像しながら、生きものが暮らす森をポストカードフレームに描きました。作品は館内に展示しています。
主催：環境省 総勢 13名参加

5月9日(日) 鞍掛山麓・花と鳥の競演 “愛でる”ハイキング



岩手植物の会の工藤宏氏を講師にお迎えし、新緑の鞍掛山に咲く花々を一つ一つ丁寧に教えていただきました。途中、雨や雷にいましたが、写真やメモを取ったり、可愛らしい花に感動したり、最後にキビタキにも出会い、和やかな雰囲気でのハイキングでした。参加者から「雑草のようにしか見えなかった草花の名前を覚えてもらい勉強になった」との感想も。総勢 18名参加 (小学生 1人含)

滝沢第二小学校 5年生校外学習

「岩手山の自然と恵み」をテーマに、網張の森を歩きながら自然について見て触れて五感を使って考えました。「自然を大切にしていきたい」児童代表感想より。



好評です！ミニプラス
いつものミニ企画に内容と時間を少し拡充して行事を行っています。

3月27日(土) 『大木巡りツアー』
4月18日(日) 『キャンプに役立つ、タープ張りに挑戦！』



写真提供：岩手山地区パークボランティア

インフォメーション



国立公園で楽しむ親子の自然体験



6月5日(土) 『登山ガイドとうさぎ平をめざそう』

9:30~14:00 網張ビジターセンター集合
講師：三浦 明夫 氏(日本山岳ガイド協会認定ガイド)
定員：親子5組10名 ※要事前予約
参加料：大人500円 小中学生300円

7月17日(土) 『ナイトハイクと星空観察☆』

18:50~20:50 網張ビジターセンター集合
講師：高橋 智香子 氏(星の案内人)
伊藤 修 氏(星の喫茶室)
定員：親子7組15名 ※要事前予約
参加料：大人500円 中学生以下300円



6月27日(日) 市民火山教室 『葛根田川浴いの地形散歩』

9:00~12:00 玄武洞さわやかトイレ駐車場集合
講師：土井 宣夫 氏
(岩手大学地域防災研究センター客員教授)
定員：10名 ※要事前予約
参加料：大人500円 小学生300円

7月11日(日)~15日(木) 『夏の網張の森ヒメボタル観察会』

19:40~20:40 網張ビジターセンター集合
定員：各10名 ※要事前予約
参加料：一人300円

☆詳しくはビジターセンターまでお問い合わせ下さい。
☆新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止になる場合もございます。最新の開催情報を事前にご確認下さい。

◆◆◆ 現在開催中のビジターセンター企画展 ◆◆◆

- 工藤 宏 写真展 - 「岩手山 花の写真展」

期間：5月1日(土)~6月30日(水)



工藤 宏 氏 プロフィール

写真集「烏帽子岳・千沼ヶ原・三ツ石山の花」「新・鞍掛山の花」を出版し、登山者からの好評を博している。

モモンガのつぶやき

幼い頃好きだった絵本の中に、松岡享子さんの「みしのたくかにと」がある。あらすじは確か、おばあさんが台所で小さな黒い種を見つけた。何の種か分からないが「とにかくたのしみ」と立札を立てて庭に播いた。庭の前を通りかかった王子様は立札を「みしのたくかにと」と読み、どんな植物が育つのかを見守る。やがて芽をだし花が咲き・・・だったような。

春の網張で私も「みしのたくかにと」をいくつか見つけ、時々覗いてみて成長を見守っている。「君はこれだったのね！」というものや、未だに「みしのたくかにと」のままのものもある。さてどんな花が咲くのかな。(C)



十和田八幡平国立公園 網張ビジターセンター

来館者数 ◆ 3月 1,106人 ◆ 4月 1,083人
朝9時のビジターセンター平均気温 ◆ 3月 -1.9℃ ◆ 4月 1.9℃

発行 網張ビジターセンター運営協議会

〒020-0585 岩手県岩手郡雫石町長山小松倉 1-2 (網張温泉)
TEL 019-693-3777 FAX 019-693-3778
URL <http://amihari17.ec-net.jp>
E-mail amihari@vanilla.ocn.ne.jp
開館 夏期(4月から10月末まで) 休館日なし 9時~17時